

2007年(平成19年)5月13日 日曜日

太陽光発電

発電設備の点灯式

— 北区・保育園「妙林苑」 —
環境学習に利用

太陽光発電は同保育園が設立七十周年の記念事業として取り付け、今年三月から稼働を始め

目を祝った。太陽光発電は同保育園が設立七十周年の記念事業として取り付け、今年三月から稼働を始め

「妙林苑」では、環境学習に役立てる太陽光発電設備の点灯式が行われた。自然エネルギーを普及する「きょうとグリーンファンド」(下京区)が保育園などと共同設置した太陽光発電として国内十機目に当たり、参加した園児と保護者らも節目を祝った。

た。事業資金は約千二百万円、同ファンドや新エネルギー財団(東京都)などの支援を受けて実現した。施設の年間光熱費の約40%に当たる

電力量をまかなえるという。点灯式は同保育園の恒例行事に合わせて、この日に行われた。園児や保護者ら約二百七十人が参

加する中、施設内で発電量を示す表示盤が披露目されると、園児たちは絵柄の描かれたかわいらしい表示盤を笑顔で見つめた。(日山正紀)



太陽光発電設備の表示盤を楽しげに眺める園児ら(京都市北区・妙林苑)

京都市内の小学校と保育園で十二日、太陽光発電を使ったお茶会イベントと太陽光発電点灯式があり、子どもたちが自然エネルギーの不思議や魅力を体感した。

魅力を体感